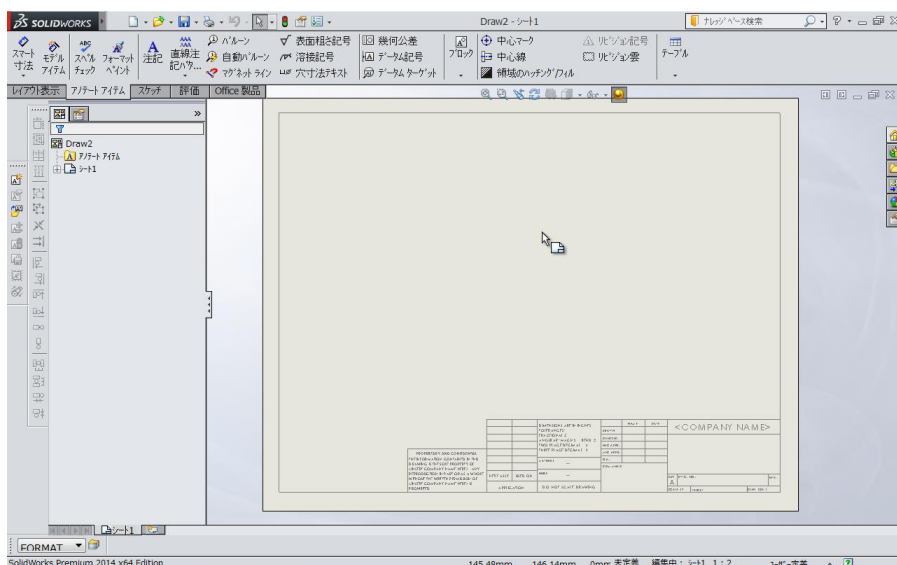


レッスン3：図面



豆知識

日本は世界で2番目に SOLIDWORKS を多く活用している国です。そのため、日本のお客様による図面機能強化要望は積極的に取り入れられており、ここ数年の新バージョンにおける図面の機能強化数は、他のカテゴリと比較しても No.1 です。

特に、最近では2次元 CAD でも実現できないような独特の機能も追加されました。最新バージョンを試す際には、ぜひ2次元図面の新機能も評価してみてください。

製造業では今でも2次元図面を必要としており、SOLIDWORKS を利用しているお客様も例外ではありません。そのため、SOLIDWORKS も2次元図面を作成する機能が（3次元 CAD でありながら）毎年多数強化されています。

本チュートリアルでは、『3D 部品』から図面を作成する過程を学習します。3D 部品から図面を作成するため、元のモデルから矛盾の無い、正確な図面を仕上げられる点がメリットです。

図面を作成するためにはまず、図面のテンプレートを選択します。図面のテンプレートには自社専用のフォーマットを登録しておくことも可能です。

各方向図、寸法などを挿入し、仕上げていく他にも、図面シートを追加し、部品図や組図を1つの同じファイルに作成しておくことも可能です。

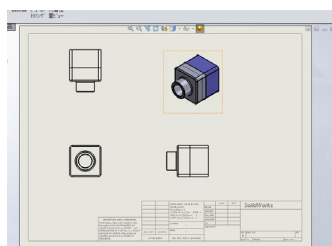
図面は元の部品とリンクを持っています。そのため、元の部品の寸法や形状を修正すると、連動して図面も更新されます。昔から2次元 CAD を使い慣れた方には3次元モデルから作成していく手順に抵抗を感じる場合があります。しかし、『矛盾の無い図面作成と更新』は、長い目で見たときにより多くのメリットをもたらします。

元の3D 部品から図面を作成していく流れを、しっかり把握しておきましょう。

ポイント

- 1 図面そのものは、1つのファイルの中で複数シートを管理できます。これにより部品図、組図を1つのファイルで管理することができます。

また、どの図面情報も、元の3次元モデルと完全に連動して更新されます。



ソリッドワークス・ジャパン株式会社

SolidWorksは(株)DS SolidWorks社の登録商標です。また、それ以外に記載されている会社名及び商品名も各社の商標または登録商標です。このドキュメントに含まれる情報は、予告なく変更されることがあります。